



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。皆さまはどのようなお正月を過ごされましたでしょうか。令和8年が幸多き1年となりますように願っています。

さて、今月6日に発生した地震は突然の大きな揺れに驚きましたが、皆さま被害はありませんでしたか。災害はいつどこで発生するかわかりません。災害が起こった時どうするのか、日頃から身近な人と話す必要性を強く感じました。

このコミュニティ・スクール通信は、コミュニティ・スクールを知っていただく機会として、各学校の取組みについて、毎月紹介していきます。今月は後藤ヶ丘中学校区です。

後藤ヶ丘中学校

ボランティア・地域交流 ～地域の一員として～

この1年間、多くの生徒たちが、中学校区内の様々な祭にボランティアとして参加しました。

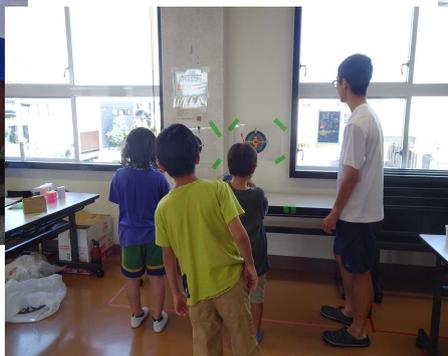
義方公民館では『ぎほう夏まつり』が開催されました。本校からは3年生80数名の生徒がボランティアとして参加し、「スーパーボールすくい」や「お菓子釣り」、「実験教室」、「射的コーナー」などのイベントの企画運営や、屋台村での「クレープ」、「アサイー風ボウル」、「きゅうり一本漬け」、「ポテト&ナゲット」「スムージーなどのジュース」の企画運営を任されて活動しました。

また、今年新たに実施した取り組みで、住吉わいわいフェスティバル・内町七夕まつり・第42回加茂川まつり等の地域イベントにもたくさんの生徒がボランティアで参加しました。

公民館や地域の方にとっても喜んでもらい、参加した生徒たちも地域の一員として充実感を得ていたようでした。学校生活での姿とは、また違った素敵な笑顔や小さな子どもたちへの声かけなど、中学生の力の素晴らしさを見ることができて、みんなにとって幸せな一日だったと思います。これからも地域の行事や活動に積極的に参加し、中学生の力で地域を活性化できたらと思います。



ぎほう夏まつり



住吉わいわいフェスティバル



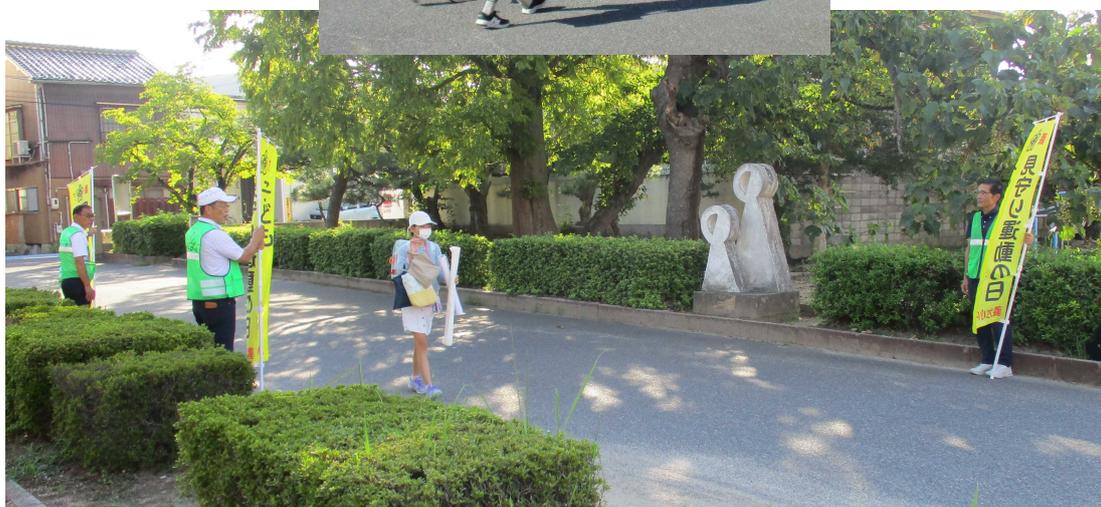
内町七夕まつり

義方小学校

地域の皆さんと一緒にあいさつの輪を！

2学期始業式の朝登校時に、学校運営協議会委員の中村剛士さん(義方地区青少年育成会会長)、寺崎淑子さん・原田幸代さん(義方地区民生主任児童委員)含め6名の地域の方々が、正門近くや体育館入口付近で朝のあいさつ運動にご協力いただきました。2学期がスタートする日に、笑顔で温かく児童を迎えていただきました。PTAも毎月朝のあいさつ運動に取り組んでいますので、今後も学校と保護者・地域の皆さんが協力して子どもたちの成長を支えていきたいと願っています。

青少年育成会の方々、ご参加いただいたCSの方々や地域の皆さん、朝早くから大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



住吉小学校

子ども達に親しみを持って接してもらうために学校運営協議会(学運協)の愛称を募集し、5・6年生が考えてくれた43の候補の中から「住吉いきいき応援団」に決まりました。一日も早く定着するよう子ども達とたくさんかかわっていきます。

そして、第3回学校運営協議会では、委員会の代表児童10人と熟議(学運協での話し合い)をしました。児童と応援団員との意見交換は初めての試みでしたが、参加児童のみなさんは堂々と各自の考えを伝えました。



5年生の家庭科では、初めてミシンを使う児童の支援に、公民館のキルトクラブの方、民生児童委員の方などたくさんの方が授業のサポートをしてくださいました。

児童から、「そばにいてくださるので、困ったと時にすぐ聞いてよかった。」「優しく教えてくださったので、ミシンの学習がすごく楽しかった。」

サポートの地域の方からは、「子どもたちから感謝されて嬉しかった。」「1時間があつと言う間だった。」など感想が寄せられ、児童にとっても、地域の方にとっても、とても良い時間になったと感じます。



学びの輪、
地域の和。
未来へ繋ぐ

～令和8年1月末発行～

(お問い合わせ) 生涯学習課 23-5442、学校教育課 23-5435